

令和 6年度（6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策		高松ブランドの向上		電話番号	087-839-2416
	取組方針		シティプロモーションの強化		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		「気持ち高まる、高松。」情報発信事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市多言語観光サイト「エクスペリエンス高松」やSNSを活用して、話題性と先進性のあるシティプロモーション施策を体系的に実施し、本市に対するポジティブなイメージの浸透を図り、全体的な都市ブランドの向上に取り組むことで、観光・MICE誘致のみならず、移住・定住促進、シビックプライドの醸成につなげる。				
年度概要	WEB情報発信事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

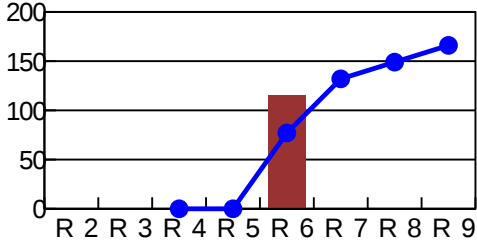
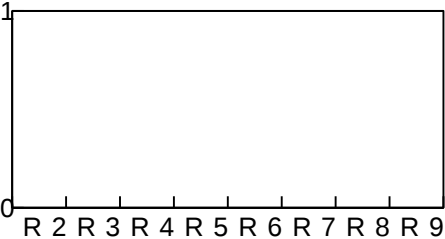
【事業の目的】

対象（何を）	市民及び国内外からの観光客等
意図（どのような状態にしたいか）	本市に対するポジティブなイメージの浸透を図り、本市のブランドイメージを向上させ、観光誘客を図るとともに、シビックプライドの醸成や移住・定住促進などにつなげる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	サイト内累積記事件数	件	0	0	101	107	115

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	エクスペリエンス高松ページビュー数	万人	目標値	0	0	77	132	149
			実績値	0	0	115		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	エクスペリエンス高松への新たな記事の掲載等、継続的なサイト改修をしていることに加え、国際線の新規就航・増便や国内外に向けた観光施策等を背景に観光客数が増加した結果、ページビュー数は115万人となった。	(目標達成度)	149.4%					
	(得点)	35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
		(目標達成度)						
	(得点)							

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	11,744	11,782	11,203	10,712
(事業費)	[千円]	5,158	5,158	4,641	4,150
(職員人件費)	[千円]	6,586	6,624	6,562	6,562

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	W E B 情報発信事業	委託料 4 , 6 4 1 千円	総額	4,641	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	4,641	
令和 7 年度	W E B 情報発信事業	委託料 4 , 1 5 0 千円	総額	4,150	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	4,150	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

エクスペリエンス高松において本市の魅力を様々な角度から情報発信する記事を蓄積するとともに、旅ナカで役立つ情報の拡充を図ってきた。サイト内の情報が蓄積されてきており、今後サイトの認知度向上や観光客からサイトを訪問してもらう仕組みづくりを構築していく必要がある。

引き続き、観光客等に向けて体験型コンテンツや旅ナカでのお役立ち情報の拡充を行う。あわせて、都市のブランドイメージの向上、シビックプライドの醸成や移住・定住促進等に貢献するとともに、香川県観光協会等の他観光サイトとの差別化を図るため、文化振興等をテーマにした記事制作も行い、アクセス数の増加を目指す。また、これまで以上にSNSを活用することで、本市の魅力を幅広い世代にも効果的に拡散していく。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策	高松ブランドの向上		電話番号	087-839-2416
	取組方針	シティプロモーションの強化		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	誘客促進事業			

【事業全体概要】

事業概要	・香川県と連携し、高松空港への直行便が就航している台北、台中、上海、ソウル、香港などのアジア5路線、国内線としてはジェットスター（成田線）を対象とし、観光キャンペーンなどを実施するほか、多言語対応可能な観光案内所を運営する。 ・香川県と連携し、大型客船が高松港への寄港した際、歓迎セレモニー及び観光案内を実施するほか、クルーズ船会社への誘致訪問を行う。 ・高松市、岡山市、広島市、松山市の4市で構成する「瀬戸内4県都市長会」で観光客誘致事業を実施する。				
年度概要	ビジット香川誘客重点促進事業 国内線（成田線）誘客促進事業 外国人観光客受入拠点事業 クルーズ船誘致事業 瀬戸内4県都市長会事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

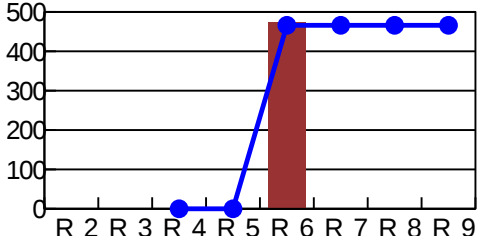
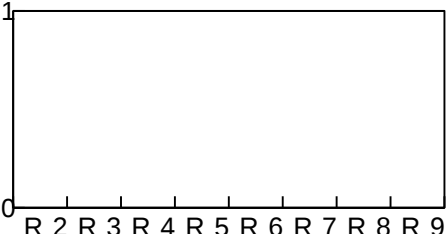
【事業の目的】

対象（何を）	本市を余暇活動で訪れる方
意図（どのような状態にしたいか）	余暇活動として旅行を行おうとする人に対して、本市への誘客を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	補助対象高松空港路線数	路線	5	5	6	7	7

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	香川県の延べ宿泊者数		万人	目標値	0	0	466	466	466	
				実績値	0	0	474			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	国際路線の拡大とともにインバウンドや国内旅行は順調に増えてきており、利用者数も増え、目標値に達した。		(目標達成度)							
(得点)										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	94,073	165,171	205,210	231,392
(事業費)	[千円]	80,602	151,622	200,153	226,992
(職員人件費)	[千円]	13,471	13,549	5,057	4,400

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	ビジット香川誘客重点促進事業 国内線（成田線）誘客促進事業 外国人観光客受入拠点事業 クルーズ船誘致事業 瀬戸内4県都市長会事業 観光客誘致事業（ＴＣＶＢへの補助）	1 6 7 , 6 8 2 千円 3 , 2 5 5 千円 1 0 , 4 8 5 千円 7 , 6 6 1 千円 9 9 6 千円 1 0 , 0 7 4 千円	総額	200,153	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	200,153	
令和 7 年度	ビジット香川誘客重点促進事業 国内線（成田線）誘客促進事業 外国人観光客受入拠点事業 クルーズ船誘致事業 瀬戸内4県都市長会事業 観光客誘致事業（ＴＣＶＢへの補助）	1 8 4 , 6 2 1 千円 3 , 4 0 7 千円 1 1 , 2 4 2 千円 1 6 , 6 1 8 千円 1 , 0 0 0 千円 1 0 , 1 0 4 千円	総額	226,992	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	226,992	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	1	検討の余地がある
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	1	検討の余地がある

評価ランク	A (80%～ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%～ 79%)					
	C (0%～ 59%)					

事業費の大半を占めるビジット香川誘客促進事業は、既存の海外直行便の利用客数を増加させる方針である。国際線5路線（香港・台湾・ソウル・台北・台中）の通年運航や、増便等が実現したことで空港利用客数は昨年度より増加した。引き続き、香川県と共同して新規国際路線の開拓や誘客に取り組む。

今後更に来高者数を増加させるため、県内だけではなく、四国全域や環瀬戸内広域観光周遊ルートを形成するなど、関係自治体とも連携して取り組んでいくほか、県と連携して、新規国際路線の開拓や誘客に取り組む。

令和 6年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策		高松ブランドの向上		電話番号	087-839-2416
	取組方針		シティプロモーションの強化		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		共同観光宣伝事業			

【事業全体概要】

事業概要	全国の自治体の観光情報を発信する関係機関等に継続加入するための負担金を拠出するとともに、共同で効果的かつ効率的な観光宣伝活動を展開するための旅費を計上し、広域的な観光振興を図る。				
年度概要	所属団体 (1) 四国四市観光誘致促進協議会 (2) わがかがわ観光推進協議会 (3) その他 8 団体				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

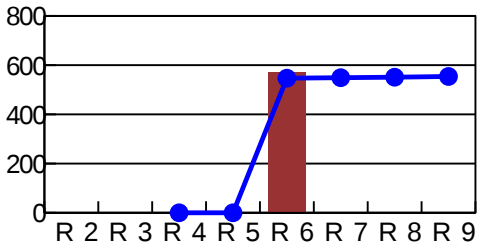
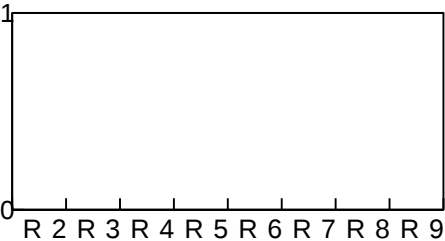
【事業の目的】

対象（何を）	市民及び県外からの観光客等
意図（どのような状態にしたいか）	広域での観光資源をＰＲして、観光誘客に努め、中・四国への観光交流人口の増大及び地域の観光産業の振興並びにエリア内への経済波及効果を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
共同キャンペーン出展件数	件	3	5	6	8	8

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	観光関連施設等利用者数		万人	目標値	0	0	547	549	551	
				実績値	0	0	573			
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
	利用者は増加し、目標達成した。		(目標達成度) 104.8%							
(得点) 35点										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)									
			(目標達成度)							
(得点)										

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	15,725	19,172	15,596	17,742
(事業費)	[千円]	5,098	8,484	10,539	13,342
(職員人件費)	[千円]	10,627	10,688	5,057	4,400

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費	
令和 6 年度	所属団体 (1) 四国四市観光誘致促進協議会 (2) わがかがわ観光推進協議会 (3) その他8団体 主な事業内容 ・観光のネットワーク化 ・広域観光ルートの研究 ・共同パンフレット等の作成 ・共同キャンペーンの出版及び開催	負担金・会費 決算 (1) 450千円 (2) 3,522千円 (3) 660千円	総額	10,539
		特定財源	国	0
			県	0
			市債	0
			他	0
		一般財源	10,539	
令和 7 年度	所属団体 (1) 四国四市観光誘致促進協議会 (2) わがかがわ観光推進協議会 (3) その他8団体 主な事業内容 ・観光のネットワーク化 ・広域観光ルートの研究 ・共同パンフレット等の作成 ・共同キャンペーンの出版及び開催	負担金・会費 予定 (1) 450千円 (2) 3,522千円 (3) 2,066千円	総額	13,342
		特定財源	国	0
			県	0
			市債	0
			他	0
		一般財源	13,342	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	1	貢献度が小さい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

国内を中心に積極的な観光客誘致に取り組むことができた。今年度開催される大阪・関西万博を見据えた積極的な観光客誘致に取り組む必要がある。

今後は広域観光周遊ルートを形成する中で、より長く本市に滞在してもらえるよう、本市の観光コンテンツの一層の充実を図るなど、更なる取組が必要である。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

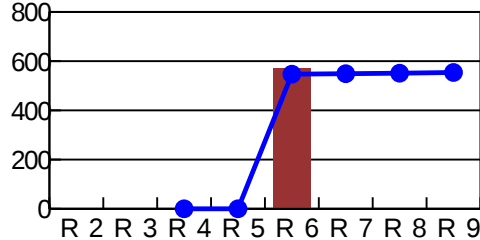
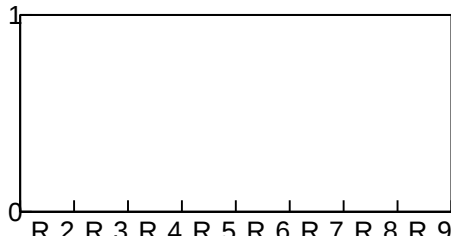
総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策	高松ブランドの向上		電話番号	087-839-2416
	取組方針	シティプロモーションの強化		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	観光客誘致宣伝事業			

【事業全体概要】					
事業概要	観光パンフレットやビニール袋、紙袋等の作成や観光パンフレットの県内外への発送など、観光客を誘致するため、本市をPRするもの。				
年度概要	贈呈品の購入 観光パンフレットリニューアル等 案内看板修繕 屋島山上地区清掃事業等負担金 日額旅費、消耗品費等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】	
対象（何を）	国内外の観光客
意図（どのような状態にしたいか）	本市への入込客数の増加

【事業の活動】							
活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	観光パンフレット作成部数	部	50,000	15,000	89,000	100,000	100,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	観光関連施設等利用者数	万人	目標値	0	0	547	549	551
			実績値	0	0	573		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	パンフレットのリニューアルを行い、魅力向上を図り、目標達成した。		(目標達成度) 104.8% (得点) 35点					
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
			(目標達成度) (得点)					

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	52,423	42,320	19,881	20,316
(事業費)	[千円]	48,980	38,858	14,824	15,916
(職員人件費)	[千円]	3,443	3,462	5,057	4,400

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	贈呈品の購入 観光パンフレットリニューアル等 案内看板修繕 Wi-Fi利用料 屋島山上地区清掃事業等負担金 日額旅費、消耗品費等	報償費 20千円	総額	14,824	
		需用費 1,010千円	特定財源	国	0
		役務費 403千円		県	0
		委託料 6,898千円		市債	0
		負担金 960千円		他	44
		工事費 264千円		一般財源	14,780
		誘致宣伝事業費計 9,555千円			
誘致宣伝事務費計 5,269千円					
令和 7 年度	贈呈品の購入 観光パンフレットリニューアル等 案内看板修繕 屋島山上地区清掃事業等負担金 日額旅費、消耗品費等	報償費 20千円	総額	15,916	
		需用費 928千円	特定財源	国	0
		役務費 48千円		県	0
		委託料 7,508千円		市債	0
		負担金 952千円		他	43
		誘致宣伝事業費計 9,456千円		一般財源	15,873
		誘致宣伝事務費計 6,460千円			

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	1	貢献度が小さい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	94 / 100 (94 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

旅行需要の回復が見込まれるため、旅の目的地に高松が選ばれるよう誘客型・着地型パンフレットのリニューアルを行った。

真に必要な情報を掲載することで、利用者の満足度を向上させる必要があるが、最新の情報の反映が困難な紙媒体としてのパンフレットについては、高松観光コンベンションビューローでも作成しており、重複する部分もあるため、改めて必要性も含めて検討する。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策	観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2416
	取組方針	観光資源の掘り起こしと磨き上げ		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	高松城跡（玉藻公園）をいかした観光振興事業			

【事業全体概要】

事業概要	重要文化財の指定を受けた披雲閣を中心として、高松城跡（玉藻公園）の観光拠点としての知名度アップと観光客の増加を図るため、バーチャル高松城の活用や和船体験事業の実施を行う。民間事業者と連携しながら、ナイト観光コンテンツの提供を図り、市民及び県外からの観光客等を増加させる。				
年度概要	玉藻公園ライトアップ事業 讃岐リレーショonz 高松城跡和船体験事業				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

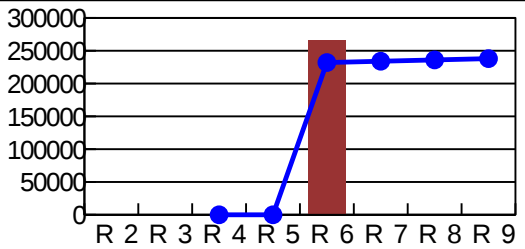
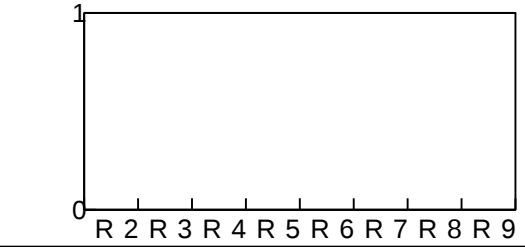
【事業の目的】

対象（何を）	市民及び県外からの観光客等
意図（どのような状態にしたいか）	高松城跡（玉藻公園）を訪れる市民及び県外からの観光客等を増加させる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
和船乗船人数	人	0	0	4,770	5,275	5,908

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	高松城跡（玉藻公園）入園者数	人	目標値	0	0	232,000	234,000	236,000
			実績値	0	0	266,025		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	令和 6 年度の高松城跡（玉藻公園）入園者数は、昨年度と比べ実績値は大幅に増加し、目標値を 15 % 上回る結果となった。（参考：昨年度の達成度 104 %）		（目標達成度） 114.7% （得点） 35点					
成果指標	成果指標名 （どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
			（目標達成度） （得点）					

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	11,394	11,431	10,634	19,360
(事業費)	[千円]	4,658	4,657	4,072	12,798
(職員人件費)	[千円]	6,736	6,774	6,562	6,562

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	バーチャル高松城維持管理事業 高松城和船体験事業	委託料、保険料 4 5 4 千円 補助金 3 , 6 1 8 千円	総額	4,072	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	4,072	
令和 7 年度	玉藻公園ライトアップ事業 讃岐リレーショ ンズ 高松城跡和船体験事業	委託料 8 , 5 0 0 千円 負担金 5 0 0 千円 補助金 3 , 7 9 8 千円	総額	12,798	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	12,798	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	4	貢献度が中程度、義務的事業
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	91 / 100 (91 %)	今後の方向性	拡充
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

バーチャル高松城については、タブレット貸出数、アプリダウンロード数ともに奮わず、令和6年度末でやむなく廃止に至った。また、昨年に引き続き「SANUKI ReMIXプロジェクト」の新企画事業に期待を寄せたが実施に至らなかった。しかしながら和船体験については乗船客数も伸び、今後は運用面での見直しを求められている。

民間事業者と連携し、国の事業費等も活用しながら、「玉藻公園ならではの」のコンテンツを造成し、誘客につなげる。併せて、SNS等を利用して、既存事業の広報を積極的に行い認知度向上を図る。また、更なる経済波及効果を狙って歴史的建造物を活用したナイトタイムコンテンツを充実させる。商店街への人流を確保し、滞在時間の増加を促すことで消費拡大につながる魅力あるイベントを継続的に開催していく。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価 担当	局名	創造都市推進局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策		観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2416
	取組方針		観光資源の掘り起こしと磨き上げ		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		観光イベント振興事業			

【事業全体概要】

事業概要	高松まつり、高松秋のまつり大名行列などの本市の代表的なまつり、及び旧合併町における地域のまつり・イベントに対し、事業補助を行い、魅力のある観光イベントの振興・活性化に努め、観光客の誘致を図る。				
年度概要	１．イベント開催補助金（１１件） ２．さぬき高松まつり負担金 ３．高松秋のまつり・大名行列開催事業負担金 ４．海の月間事業負担金 ５．その他				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

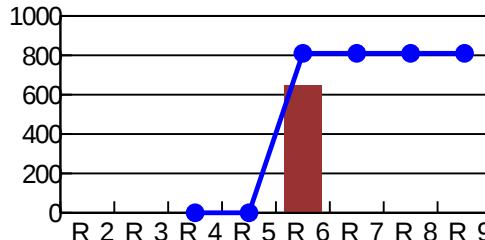
【事業の目的】

対象（何を）	訪れる市民・観光客
意図（どのような状態にしたいか）	高松まつりなどのイベント振興に努め、多くの市民が楽しみ、観光客が訪れるよう、地域性豊かな特色のある観光資源の創造を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	補助金交付団体数	団体	23	13	14	15	15

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	まつり・イベント入込客数		千人	目標値	0	0	810	810	810	
				実績値	0	0	648			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	多くのイベントが開催され、にぎわい創出・誘客促進が図られた。しかしながら、さぬき高松まつりの規模縮小もあり、目標値には及ばなかった。			(目標達成度)						
(得点)										
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
				(目標達成度)						
(得点)										

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	181,219	111,342	88,353	94,075
(事業費)	[千円]	158,767	88,761	83,296	89,675
(職員人件費)	[千円]	22,452	22,581	5,057	4,400

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	1. イベント開催補助金(11件) 2. さぬき高松まつり負担金 3. 高松秋のまつり・大名行列開催事業負担金 4. 海の月間事業負担金 5. その他	1. 19,141千円	総額	83,296	
		2. 54,876千円(充当した協賛金額851千円を含む)	特定財源	国	0
		3. 9,071千円		県	0
		4. 50千円		市債	0
		5. 158千円		他	851
		合計		83,296千円	一般財源
令和 7 年度	1. イベント開催補助金(11件) 2. さぬき高松まつり負担金 3. 高松秋のまつり・大名行列開催事業負担金 4. 海の月間事業負担金 5. その他	1. 21,221千円	総額	89,675	
		2. 55,080千円	特定財源	国	0
		3. 9,071千円		県	0
		4. 50千円		市債	0
		5. 4,253千円		他	0
		合計		89,675千円	一般財源

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	1	貢献度が小さい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	80 / 100 (80 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

観光客のニーズを取り入れつつ各イベントのブラッシュアップを行うとともに、持続可能な形式に変更していく必要がある。

今後は地域のにぎわい創出だけではなく、観光イベントとして、より誘客促進につながるものとなるよう取り組んでいく必要があるほか、上記課題の解決に向け、イベント内容そのものの在り方の見直しや新たな財源の確保に取り組む。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策	観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2416
	取組方針	観光資源の掘り起こしと磨き上げ		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	観光プロモーション事業			

【事業全体概要】

事業概要	「持続可能な観光地域づくり」、「インバウンド回復」及び「国内交流拡大」をキーワードに、国内外に対して持続的にプロモーションを実施することにより、本市の認知度向上を目指し、観光客・交流人口・関係人口の増加を図り、移住やシビックプライドの形成を促すことを目的とする。また、神戸市、小豆島町及び土庄町との連携並びに、西日本19自治体と連携して、インバウンドの広域周遊に向けた、プロモーションや旅行商品造成を図る。				
年度概要	国内Z世代向け誘客観光プロモーション委託料 2市2町連携負担金 西のゴールデンルートアライアンス負担金 西のゴールデンルートアライアンス大阪・関西万博出展に伴う旅費				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	

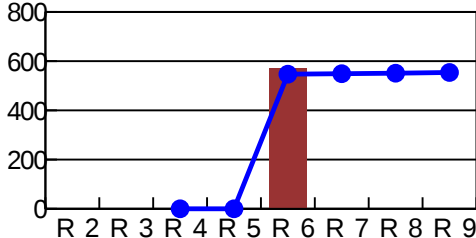
【事業の目的】

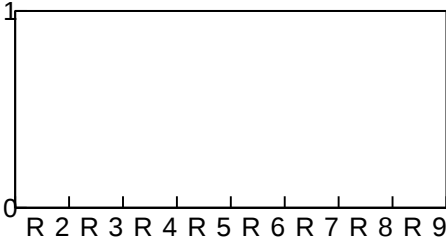
対象（何を）	国内外の観光客
意図（どのような状態にしたいか）	本市の認知度向上及び入込客数の増加

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
プロモーション事業実施件数	件	0	0	3	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8			
	観光関連施設等利用者数	万人	目標値	0	0	547	549	551			
			実績値	0	0	573					
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)										
	国内のZ世代等に対してSNSを活用した情報発信を実施したことや国内外に対して周辺自治体と連携したプロモーション事業を実施したこと等を背景に、高松市内の観光関連施設等利用者数は573万人を記録した。	(目標達成度)									
(得点)											

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8			
			目標値								
			実績値								
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)										
		(目標達成度)									
(得点)											

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	0	0	28,512	17,055
(事業費)	[千円]	0	0	21,950	10,493
(職員人件費)	[千円]	0	0	6,562	6,562

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	2 市 2 町連携負担金 西日本・九州ゴールデンルートアライアンス負担金 国内 Z 世代向け観光プロモーション事業 国外向け観光プロモーション事業	1 , 4 5 0 千円 1 , 0 0 0 千円 1 6 , 5 0 0 千円 3 , 0 0 0 千円	総額	21,950	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	21,950	
令和 7 年度	国内 Z 世代向け誘客観光プロモーション委託料 2 市 2 町連携負担金 西のゴールデンルートアライアンス負担金 西のゴールデンルートアライアンス大阪・関西万博出展に伴う旅費	1 , 3 4 2 千円 1 , 5 0 0 千円 7 , 5 0 0 千円 1 5 1 千円	総額	10,493	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	10,493	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

国外向けのプロモーションについては単独での事業では効果が得られにくいと、引き続き広域連携の枠組みを活用して情報発信を行う。国内向けについてはターゲットや手法について検討を行う必要がある。

引き続き、国内外に対して、本市の認知度向上に向けたプロモーションを実施する。また、プロモーションのターゲット層・手法の再検討や密な周辺自治体との連携等を実施することで、より効果的に観光客・交流人口・関係人口の増加を図る。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策		観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2416
	取組方針		観光資源の掘り起こしと磨き上げ		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		コンテンツツーリズム推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	ゲーム作品を活用した観光コンテンツの整備及び、男木島灯台資料館等（照明設備、トイレ、給湯設備）の改修 令和6年度は、ソフト面である聖地巡礼マップやガイドアプリの観光コンテンツの作成 令和7年度は、ハード面である男木島灯台資料館等の改修工事				
年度概要	灯台資料館等改修工事				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	

【事業の目的】

対象（何を）	国内外からの観光客等
意図（どのような状態にしたいか）	本市が舞台等になっているコンテンツを積極的に活用し、本市の認知度向上及び観光客・交流人口・関係人口の増加を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
コンテンツを活用した観光振興施策の実施件数	件	0	0	0	1	1

【事業の成果】

成果指標

成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8																		
観光関連施設等利用者数	万人	目標値	0	0	547	549	551																			
		実績値	0	0	573																					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）				<table><caption>達成率データ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率</th></tr></thead><tbody><tr><td>R2</td><td>0</td></tr><tr><td>R3</td><td>0</td></tr><tr><td>R4</td><td>0</td></tr><tr><td>R5</td><td>0</td></tr><tr><td>R6</td><td>573</td></tr><tr><td>R7</td><td>549</td></tr><tr><td>R8</td><td>551</td></tr><tr><td>R9</td><td>551</td></tr></tbody></table>				年度	達成率	R2	0	R3	0	R4	0	R5	0	R6	573	R7	549	R8	551	R9	551
	年度	達成率																								
R2	0																									
R3	0																									
R4	0																									
R5	0																									
R6	573																									
R7	549																									
R8	551																									
R9	551																									
ソフト面である聖地巡礼マップやガイドアプリの観光コンテンツの作成やインバウンド観光客の増加もあり、目標値に至った。		(目標達成度)	104.8%																							
		(得点)	35点																							

成果指標

成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8																		
		目標値																								
		実績値																								
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）				<table><caption>達成率データ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>達成率</th></tr></thead><tbody><tr><td>R2</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td></td></tr><tr><td>R5</td><td></td></tr><tr><td>R6</td><td></td></tr><tr><td>R7</td><td></td></tr><tr><td>R8</td><td></td></tr><tr><td>R9</td><td></td></tr></tbody></table>				年度	達成率	R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9	
	年度	達成率																								
R2																										
R3																										
R4																										
R5																										
R6																										
R7																										
R8																										
R9																										
		(目標達成度)																								
		(得点)																								

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	0	0	23,034	33,990
(事業費)	[千円]	0	0	17,977	29,590
(職員人件費)	[千円]	0	0	5,057	4,400

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	コンテンツツーリズム推進業務 施設改修実施設計業務 施設改修に伴うアスベスト調査業務 ガラス製ショーケース購入	1 4 , 5 7 3 千円 2 , 6 4 0 千円 4 0 7 千円 3 5 7 千円	総額	17,977	
			特定財源	国	7,286
				県	0
				市債	3,000
				他	553
			一般財源	7,138	
令和 7 年度	灯台資料館等改修工事	2 9 , 5 9 0 千円	総額	29,590	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	29,500
				他	0
			一般財源	90	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	1	貢献度が小さい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

年度末に完成した聖地巡礼マップ・音声ガイドアプリ等をアニメツーリズム施策としていかなるよう広報し来島者数を増やす。
--

契約監理課発注分の施設改修を実施する。また、聖地巡礼マップ及びガイドマップアプリの運用を継続し、観光客・交流人口・関係人口の増加を図る。

令和 6年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策		観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2416
	取組方針		おもてなし環境の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		観光客受入環境整備事業			

【事業全体概要】

事業概要	観光客の受入環境整備事業を行っており、主に公衆無線LANサービスを整備している。また、今後の観光事業を検討するために観光客の動向調査を行っている。				
年度概要	Wi-Fi通信費 観光人材育成ワークショップ等実施 スポットWi-Fi機器入れ替え費等				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

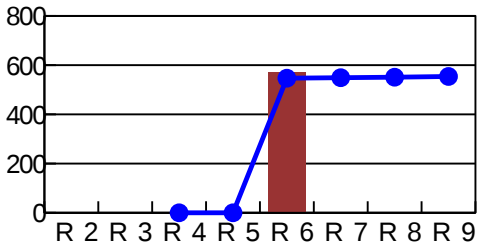
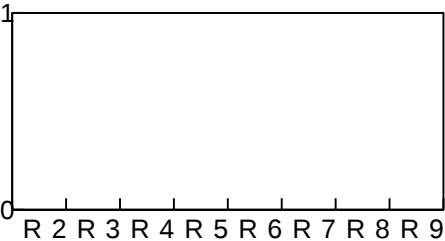
【事業の目的】

対象（何を）	市民及び県外からの観光客等
意図（どのような状態にしたいか）	本市への観光客の増加（外国人含む）及び滞在中の満足度向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
高松観光まちづくりネットワーク推進委員会の開催回数	回	0	0	2	4	4

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
	観光関連施設等利用者数		万人	目標値	0	0	547	549	551	
				実績値	0	0	573			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
	インバウンド観光客の増加もあり、目標達成に至った。		(目標達成度)	104.8%						
(得点)			35点							
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8	
				目標値						
				実績値						
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）									
			(目標達成度)							
(得点)										

令和 6年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策		観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2416
	取組方針		おもてなし環境の充実		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業		男木島灯台資料館管理運営事業			

【事業全体概要】

事業概要	男木島灯台資料館の管理運営、入場者数の把握、敷地内の管理を委託し、観光客の利便を図り、リピーター向上に努める。				
年度概要	男木島灯台資料館の管理運営、入場者数の把握、敷地内の管理を委託する。				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

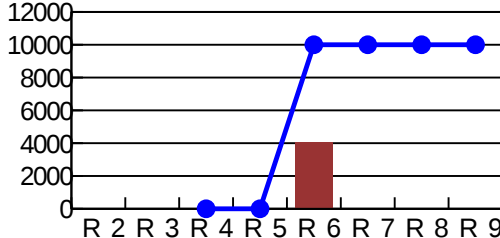
【事業の目的】

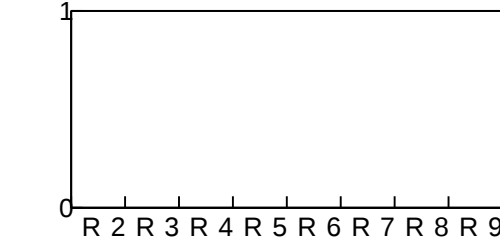
対象（何を）	男木島への来島者数
意図（どのような状態にしたいか）	来島客の満足度の向上を図り、リピーターの確保を目指す。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
男木島灯台資料館開館日数	日	0	0	187	180	180

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	施設利用者数		人 / 年	目標値	0	0	10,000	10,000	10,000
				実績値	0	0	4,073		
	成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)								
	島内イベントが天候等の影響により中止になるなど目標値を大きく下回った。		(目標達成度)	40.7%					
(得点)			14点						

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
				目標値					
				実績値					
	成果指標の達成度 (目標に対してどれだけ達成できたか)								
			(目標達成度)						
(得点)									

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	3,782	3,214	7,203	7,331
(事業費)	[千円]	2,585	2,010	2,146	2,931
(職員人件費)	[千円]	1,197	1,204	5,057	4,400

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費				
令和 6 年度	男木島灯台資料館の管理運営、入場者数の把握、敷地内の管理を委託する。	需用費 2 8 1 千円	特定財源	総額	2,146		
		役務費 8 千円		国		0	
		委託料 1, 8 3 4 千円			県		0
		使用料及び賃借料 2 3 千円				市債	
		—			他		
		合計 2, 1 4 6 千円	一般財源	2,144			
令和 7 年度	男木島灯台資料館の管理運営、入場者数の把握、敷地内の管理を委託する。	需用費 1, 0 2 5 千円	特定財源	総額	2,931		
		役務費 8 千円		国		0	
		委託料 1, 8 7 5 千円			県		0
		使用料及び賃借料 2 3 千円				市債	
		—			他		
		合計 2, 9 3 1 千円	一般財源	2,930			

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	1	貢献度が小さい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	C	総合点 (率)	54 / 100 (54 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

男木島灯台資料館の管理運営を、地元の男木島観光協会に委託し、観光客からの施設観覧の要望に応じて開館し、案内を行った。施設が沿岸部に位置し、塩害による老朽化も著しいことから、適時適切な改修を行うことが求められる。

施設の老朽化が進んでいることから、効果的なファシリティマネジメントに取り組む。また、効果的な誘客方法について検討を進める。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策		観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2416
	取組方針		おもてなし環境の充実		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		観光ボランティアガイド育成事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市を訪れる観光客に、高松の歴史・文化・自然及び物産等の豊かな魅力を紹介する観光ボランティアガイドを育成し、本市の観光振興を図る。				
年度概要	・観光客に対する観光ガイド ・新人研修会 ・既会員へのガイドスキル向上のための研修会				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

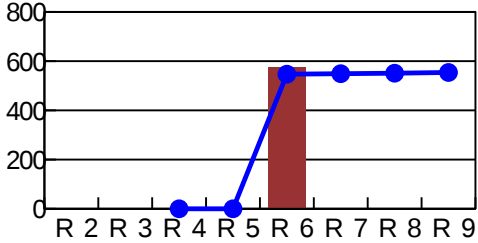
【事業の目的】

対象（何を）	玉藻公園・屋島地域を訪問した観光客・市民等
意図（どのような状態にしたいか）	高松を訪れた観光客に対して観光ガイドができる人材を育成することで、受入態勢の充実を図る。また、来高満足度を高め、リピーター又は来高意識の拡大を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	被ガイド（観光客）数	人	6,395	7,517	5,217	13,800	13,800

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8			
	観光関連施設等利用者数		万人	目標値	0	0	547	549	551			
				実績値	0	0	575					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）											
	県外からの観光客が一定数戻ったことにより、前年度と比べると利用者数は増加し、目標値達成に至った。		(目標達成度)									
(得点)												
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)		単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8			
				目標値								
				実績値								
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）											
			(目標達成度)									
(得点)												

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	6,960	7,469	7,649	5,580
(事業費)	[千円]	0	469	469	446
(職員人件費)	[千円]	6,960	7,000	7,180	5,134

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	・観光客に対する観光ガイド ・新人研修会 ・既会員へのガイドスキル向上のための研修会	補助金 4 6 9 千円	総額	469	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	469	
令和 7 年度	・観光客に対する観光ガイド ・新人研修会 ・既会員へのガイドスキル向上のための研修会	補助金 4 4 6 千円	総額	446	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	446	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	96 / 100 (96 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

県外からの観光客が一定数戻ったことにより、前年度と比べると、利用者数は増加した。今後も研修等を通して、更なるガイドスキルの向上を図るとともに、若年層ガイドの育成やインバウンドの対応が課題である。

通訳案内士制度の改正に伴い、有償ガイドに制約がなくなることから、若年層ガイドの育成として、大学との連携等を引き続き行っていくが、本市における観光ガイドの在り方を検討する必要がある。

令和 7年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策	観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2416
	取組方針	M I C E 誘致・都市間交流の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業	M I C E ・観光客誘致推進事業			

【事業全体概要】

事業概要	観光・M I C E 都市としての知名度を向上させてブランドイメージを確立するために策定された「高松市M I C E 振興戦略」に基づいて、本市ならではのM I C E 振興を行うため、（公財）高松観光コンベンション・ビューローの機能強化や香川県M I C E 誘致推進協議会への負担金支出等を行う。				
年度概要	M I C E 誘致推進協議会への負担金 M I C E ・観光客誘致に向けたプロモーション 観光振興ビジョン策定調査費 大都市圏旅行会社に対するプロモーション				
重点取組事業	重点取組	市長マニフェスト		関連根拠法令	高松市M I C E 振興戦略

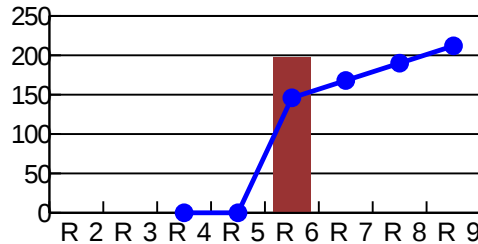
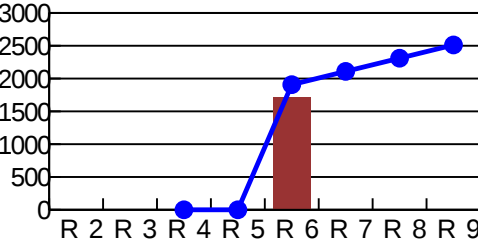
【事業の目的】

対象（何を）	国際会議観光都市としての本市
意図（どのような状態にしたいか）	高松市と近隣町（三木町、直島町、綾川町）で開催されるM I C E 開催件数を増加させることで、交流人口や観光客の増加を図るとともに、都市ブランドイメージの向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
誘致訪問件数（県協議会分を含む。）	件	0	0	316	377	409
全国大会開催補助金支出件数	件	0	0	71	70	78

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	コンベンション開催件数	件	目標値	0	0	146	168	190
			実績値	0	0	197		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	コンベンション開催件数は197件となり、目標を上回った。							
			(目標達成度)	134.9%				
			(得点)	35点				
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	高松シンボルタワー来場者数	千人	目標値	0	0	1,907	2,109	2,310
			実績値	0	0	1,714		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							
	前年度と比較して増加したものの、目標値を下回った。							
			(目標達成度)	89.9%				
			(得点)	31点				

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	52,508	28,649	108,347	116,361
(事業費)	[千円]	47,269	23,380	101,785	109,799
(職員人件費)	[千円]	5,239	5,269	6,562	6,562

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	M I C E 誘致推進協議会への負担金 M I C E ・観光客誘致に向けたプロモーション	4 , 8 9 1 千円 9 6 , 8 9 4 千円	総額	101,785	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源		101,785			
令和 7 年度	M I C E 誘致推進協議会への負担金 M I C E ・観光客誘致に向けたプロモーション 観光振興ビジョン策定調査費 大都市圏旅行会社に対するプロモーション	5 , 3 9 1 千円 1 0 2 , 0 0 0 千円 2 , 2 0 0 千円 2 0 8 千円	総額	109,799	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源		109,799			

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	90 / 100 (90 %)	今後の方向性	改善
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

県協議会や高松観光コンベンション・ビューローと連携し、実地への誘致訪問やオンラインでの商談会への参加等により、誘致活動を実施した。今後は、参加者向けプロモーション映像等を効果的に活用し、実地での参加者数増加を図るとともに、オンライン環境を整え、ニューノーマルに対応したMICE開催に対応していくことが課題である。

主催者が安心して安全にＭＩＣＥを開催できるよう制定されたガイドラインや、取得した施設の国際的な衛生基準を効果的に活用しながら、引き続き、ＭＩＣＥ誘致や受入態勢の改善に、令和５年度に策定した第２期高松市ＭＩＣＥ振興戦略に基づいて県市を挙げて取り組んでいくとともに、サステナブルなＭＩＣＥ都市を目指し、ＧＤＳ－Ｉｎｄｅｘ評価制度を県協議会や高松観光コンベンション・ビューローと連携しながら進めていく。また、戦略的な観光振興を行うために、調査事業等を実施し新たな観光振興ビジョンの策定に向けて取り組んでいく。

令和 年度（ 6年度決算分）高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標		魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策		地域活力の創造		課(室)名	観光交流課
	施策		観光振興と交流の推進		電話番号	087-839-2416
	取組方針		M I C E 誘致・都市間交流の推進		事業期間	令和 6年度～令和 13年度
	事務事業		姉妹城都市等観光交流事業			

【事業全体概要】

事業概要	本市と姉妹城都市や親善都市等の都市提携を結んでいる都市との観光と物産展を開催する。				
年度概要	金沢百万石まつり参加、ひこねの城まつり参加 観光と物産展の参加・開催				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	

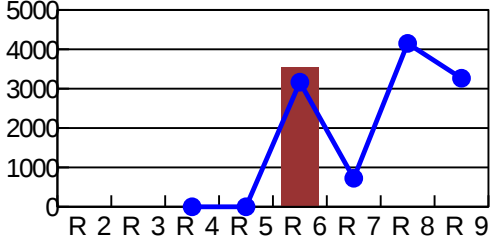
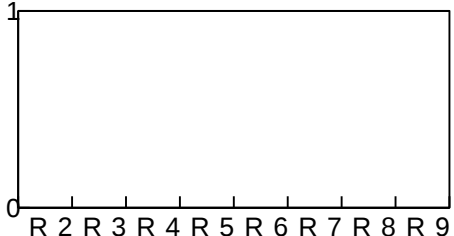
【事業の目的】

対象（何を）	提携都市等の市民
意図（どのような状態にしたいか）	観光と物産展の開催を通して、特産品や観光のＰＲと都市間の友好親善を深める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
観光と物産展参加回数	回	0	0	4	1	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
	観光と物産展における高松市ブース訪問者数	人	目標値	0	0	3,165	725	4,150
			実績値	0	0	3,531		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
	提携都市において開催される物産展に参加し、本市の特産品や観光をPRすることができた。（金沢市、由利本荘市、帯広市、彦根市）	(目標達成度)	111.6%					
(得点)		35点						
成果指標	成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
			目標値					
			実績値					
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							
		(目標達成度)						
(得点)								

	単位	R 4(決算)	R 5(決算)	R 6(決算)	R 7(予算)
トータルコスト	[千円]	8,210	8,570	6,096	5,821
(事業費)	[千円]	1,250	1,570	1,039	1,421
(職員人件費)	[千円]	6,960	7,000	5,057	4,400

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	金沢百万石まつり参加、ひこねの城まつり参加 観光と物産展の参加・開催	9 0 千円 9 4 9 千円	総額	1,039	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,039	
令和 7 年度	金沢百万石まつり参加、ひこねの城まつり参加 観光と物産展の参加・開催	1 9 0 千円 1 , 2 3 1 千円	総額	1,421	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
			一般財源	1,421	

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	3	横ばいである
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	3	貢献度が中程度、義務的事業
効率性	事業実施手法としては最適か。	3	現状が望ましい
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	3	概ね効率的にできている

評価ランク	A (80%~ 100%)	A	総合点 (率)	92 / 100 (92 %)	今後の方向性	継続
	B (60%~ 79%)					
	C (0%~ 59%)					

コロナ禍を経て、各提携都市で夏まつりなどの交流イベントが再開され、各都市での観光と物産展では、多くの人が本市ブースに来場していることから、特産品や観光のＰＲ効果は大きい。

提携都市との友好交流や特産品等をPRするため、継続的に、観光と物産展の開催やブース出展を実施する。